

変わる車、変わるメンテナンス、最新動向を学ぼう！



ご存じですか「洗車モード」？
次世代車への搭載が進む、知らないとは故障やトラブルも



「洗車モード」とは？



テスラ、メルセデス・ベンツ、ボルボなどの一部の車両には「洗車モード」という機能が搭載されています。次世代車両には、各種センサーが搭載されており、外部から何かしらの接触があると、起動する可能性があります。例えば洗車時に水滴がフロントガラスに付くとワイパーが作動してしまったり、EVの充電口のカバーが開いてしまう場合もあります。

「洗車モード」に切り替えることで、各機能をオフにしたり、充電ポートをロックすることができます。



想定される洗車時のトラブル



「洗車モード」に切り替えをしていないと、ワイパーが誤作動したり、EVの充電口カバーが開いてしまい、洗車ブラシが巻き込んで、破損や故障に繋がることがあります。洗車機の回りに注意書きを記載するなど、リスクヘッジすることをお勧めします。



▲注意喚起を行うSS

洗車モードが搭載されている車種

■テスラ

車種：Model S、Model 3、Model X、Model Y

洗車モード：[こちらから](#)

■メルセデス・ベンツ

車種：GLA、GLB、GLE、GLS

洗車モード：[こちらから](#)

■ボルボ

車種：EX30

洗車モード：[こちらから](#)

洗車モードの機能紹介

- ・全てのウィンドウが閉じる充電ポートをロック
- ・セントリーモードに設定
- ・降車後オートロック
- ・自動ワイパーをオフ
- ・フランクやトランクをオフ
- ・パーキングアシストチャイムをオフ
- ・速度を15km/hに制限
- ・パークトロニック(水に反応する場合がある)オフ
- ・エアサスペンションの車は車高をMAXまで上昇

※メーカー、車種により異なります。



テスラ Model Y



メルセデス・ベンツ GLS



ボルボ EX30